

惜しまれつつ閉校 稚内市立稚内西小中学校



稚内西小中学校のあゆみ

明治	33	「稚内尋常高等小学校潤内分教場」開設
	34	「潤内尋常小学校」認可
昭和	16	「潤内国民学校」と改称
	19	「西稚内国民学校」と改称
	22	新学制により「西稚内小学校」と改称
	23	「稚内町立稚内中学校西稚内分校」開校式挙行
	24	市制施行により「稚内市立西稚内小学校」及び「稚内市立稚内中学校西稚内分校」と改称
	25	「稚内市立西稚内中学校」として独立
	42	「稚内市立稚内西小学校」及び「稚内市立稚内西中学校」と改称
平成	12	稚内西小学校開校100周年、中学校開校50周年記念式典挙行
	26	在校児童生徒数が小学校0名、中学校6名に。小学校は休校
	27	3月31日閉校

明治33年に「稚内尋常高等小学校潤内分教場」として開設以来、輝かしい伝統を築き上げてきた「稚内市立稚内西小中学校」が115年という長い歴史に幕をおろします。

開校時の児童数は60名、明治43年から昭和16年までは、毎年200名前後の児童が通っていましたが、昭和30年代をピークに児童生徒数が大きく減少しました。平成26年には小学校の在籍児童数が0名となり休校し、平成27年3月をもって小学校と中学校を閉校することになりました。

同校を卒業した人数は、小学校2,440名、中学校1,324名(今年度に卒業する2名を含む)にのびります。



海開き前に毎年実施している海浜清掃

◆環境美化活動などで表彰歴多数

昭和48年から開始した坂の下海水浴場の清掃活動をはじめ、早くから環境学習に力を入れており、取り組みに対し、国や道などから表彰を受けています。

海浜環境保全の取り組み等に対する表彰

- ・環境大臣
- ・北海道運輸局長
- ・海上保安庁長官
- ・国土交通省 など多数

多くの思い出を胸に

115年の歴史と伝統がある西小中学校が今年度末で閉校することになりました。

小学校1年から中学校2年までの8年間過ごした西小中学校には、たくさんの思い出が詰まっています。

学芸会では、私たち生徒が主体となり、劇の脚本作りからほぼ全て準備し本番に臨んだほか、運動会では、地域の皆さんと一緒に盛り上がりました。

全校生徒が少ないということもあり、学年に関係なくみんな仲良しで、深い絆で繋がっています。先生との距離も近く、親身になって私たちを支えてくださいました。

これまで応援して下さった地域の皆さん、先生、諸先輩方には心から感謝申し上げます。

今年で西小中学校は閉校しますが、違う学校へ行っても、これまで培ってきたことを活かしていきたい思います。



稚内西中学校2年
生徒会長
なかじま そにあ
中島 爽仁亜 さん

脈々と受け継がれた「西校精神」を糧に

地域の学校として愛され支えられてきた稚内西小中学校は、平成27年3月31日をもって、115年の歴史に幕をおろすことになりました。

地域の方々をはじめ多くの保護者、同窓生の思い出が詰まった学び舎の灯が消えてしまうことは、大変残念であり寂しいことです。

本校の歴史を振り返りますと、稚内西小学校は、明治33年11月1日「稚内尋常高等小学校潤内分教場」を前身とし、西稚内地区の漁業の隆盛とともに児童数も増加の一途をたどり、大正から昭和前期までは、200名を越える児童が学んでおりました。

中学校は昭和23年10月11日「稚内中学校西稚内分校」として開設され、昭和後期までは、児童生徒数は200名前後と安定しておりました。平成の時代に入り、開校百周年目にあたる平成12年には40名までに減りました。

この間、小学校では2,400名余り、中学校では1,300名余りの卒業生を輩出し、稚内市をはじめ地域社会の重要な担い手として活躍しております。

平成26年度は中学生6名のみとなってしまいましたが、「西校精神」は脈々と後輩たちに受け継がれ、小さな学校ではありますが、大きな夢に向かい旺盛な挑戦心と思いやりの心を指針とし、社会で生きる自立の力を育てております。

閉校にあたり、これまで本校を支えて下さった多くの関係者の皆様、同窓生の皆様にお集まりいただき、感謝と送別の思いを込め、また、懐かしい思い出を語り合う機会となるよう閉校記念事業を予定しております。多くの皆様にご参集願えれば幸いに思います。



稚内西中学校
あみや かずゆき
網谷 一幸 校長

閉校記念事業

閉校式典／3月21日(土) 10時30分～11時30分

惜別の会／3月21日(土) 12時～14時30分

会場／稚内西小中学校体育館

問い合わせ／閉校式典…市学校教育課 ☎23-6519

惜別の会…稚内西小中学校 ☎28-1800